

【研究課題名】 標準化腎生検組織評価法の確立

【研究の目的】

腎生検は腎臓病の診断およびそれに基づく治療方針の決定に重要な検査の一つです。本研究では、腎生検組織診断の均質化を目指し、より適切な治療法の選択と腎予後向上を図ります。

【研究の方法】

当院で腎生検を行い、臨床診断に用いたプレパラートを用いて腎生検組織の再評価を行います。また、腎生検を受けた時点の生検組織を用いて、その後腎疾患がどのような経過をたどるのか、という「腎予後」の予測が可能であるか否かを検討します。腎生検後、当院で血液検査や尿検査を施行している方の検査データや、治療経過で透析治療の開始もしくは腎移植が必要となったかどうか、また、死亡したかどうかなどの情報を電子カルテから収集し、疾患の経過や転帰との関連を明らかにします。

【研究期間】

倫理委員会承認後～2022年4月30日

【対象となる患者さん】

2014年1月1日から2018年12月31日までに当院で腎生検を行った16歳以上の方

【利用するカルテ情報】

年齢、性別、身長、体重、血圧、病歴(個人の特定期間可能な情報を除く)、既往歴(高血圧歴、糖尿病歴など)、血液検査データ(クレアチニン、eGFR、Alb)、尿検査(尿蛋白(g/gCre)、尿潜血)、腎生検プレパラート、腎生検免疫蛍光抗体所見(IgG, IgA, IgM, C3, C4, C1q, Fib)、腎生検診断名(臨床診断および病理診断)、腎代替療法導入や死亡などの臨床情報

【研究機関】

研究代表施設 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学
研究責任者：腎臓内科 教授 猪阪 善隆

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R もしくは記憶媒体に暗号化され保存した電子ファイルにパスワードをかけて郵送することによって大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 助教 松井 功

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【お問い合わせ先】

○問い合わせ先

名古屋大学医学部腎臓内科 病院講師 加藤 規利／教授 丸山 彰一

T E L : 052-744-2192 F A X : 052-744-2209

○苦情の受付先

名古屋大学医学部総務課

T E L : 052-744-1901

研究主任施設

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科 松井 功

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号

電話 06-6879-3857